



最初の展開後の新しいユーザの追加

アプリケーションの最初の展開を完了した後に、すべての機能を備えた新しいユーザを Cisco Unified Personal Communicator に追加するための設定手順を、表 4-1 に示します。

表 4-1 Cisco Unified Personal Communicator でのすべての機能を備えた新しいユーザの設定

設定	参照先
Cisco Unified CallManager の設定	
Cisco Unified CallManager データベースに電話を追加する。 コンピュータ テレフォニー インターフェイス (CTI) から Cisco Unified IP Phone を制御できるようにする。 電話番号と電話を関連付ける。	2-5 ページの「Cisco Unified CallManager データベースへの Cisco Unified IP Phone の追加」
ユーザ アカウントを設定し、電話番号をユーザに関連付けます。 電話をエンド ユーザと関連付ける。 エンド ユーザを Standard CTI Enabled グループに追加する。 エンド ユーザを CCM End User グループに追加する。	2-6 ページの「Cisco Unified IP Phone とエンド ユーザの関連付けおよびグループへのエンド ユーザの追加」
ユーザごとに新しいデバイスを手動で作成して、Cisco Unified Personal Communicator のソフトフォン機能を有効にする。	2-10 ページの「電話タイプとしての Cisco Unified Personal Communicator の追加」
必要に応じてライセンス ファイルを取得する。 必要に応じてライセンス ファイルをアップロードする。 機能を割り当てる。	2-14 ページの「ライセンス ファイルの取得」 2-14 ページの「ライセンス ファイルのアップロード」 2-15 ページの「ユーザへの機能の割り当て」
Cisco Unity Connection サーバの設定	
新しいユーザのアカウントをセットアップする。	2-23 ページの「Cisco Unity Connection の設定」
Cisco Unified MeetingPlace Express サーバの設定	
新しいユーザのユーザ プロファイルをセットアップする。	2-24 ページの「Cisco Unified MeetingPlace Express の設定」

表 4-1 Cisco Unified Personal Communicator でのすべての機能を備えた新しいユーザの設定 (続き)

設定	参照先
Cisco Unified Presence Server の設定	
新しいユーザの LDAP 属性マップを設定する。	2-26 ページの「LDAP 属性マップの設定」
新しいユーザをサーバプロファイルに追加する。	2-29 ページの「LDAP サーバプロファイルの作成」 2-32 ページの「Cisco Unity Connection サーバプロファイルの作成」 2-34 ページの「Cisco Unified MeetingPlace Express サーバプロファイルの作成」 2-37 ページの「CTI ゲートウェイ サーバプロファイルの作成」 2-39 ページの「SIP プロキシサーバプロファイルの作成」
優先する CTI デバイスとして、ユーザのプライマリ指定されたデスクの電話の MAC アドレスを設定する。	2-40 ページの「ユーザごとのアプリケーションプロファイルの変更」
ビデオテレフォニー カメラの設定	2-42 ページの「ビデオテレフォニー カメラの設定」
ヘッドセットおよび音声デバイスの設定	2-43 ページの「ヘッドセットおよびその他の音声デバイスの設定」
ユーザへの情報の提供	3-5 ページの「エンドユーザへの情報の提供」